



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

職場体験学習について

臨時勤務者 高崎地域事務所

自衛隊群馬地方協力本部高崎地域事務所（所長 宮本2陸尉）は令和5年9月5日（水）から同年9月7日（木）までの三日間、安中市立第一中学校（女子2名、男子6名）及び安中市立松井田中学校（男子8名）の自衛隊希望者計16名に対して、総合学習を実施した。
総合学習とは、働く事の意義や社会のルール・マナーを学習し、社会人として、第一歩を踏み出すことを目的としている。

総合学習最終日に担当広報官とともに参加し、安中第一中学校の会議室及び校庭において、公務員・防衛省自衛隊の概要説明、基本教練及び缶バッジ作りと参加者が感想をのべる発表会を実施した。
基本教練においては、各個教練（気をつけ・敬礼・なおれ・回れ右）と部隊教練の行進間の動作（前へ進め・右向け止まれ）を実施した。当初は行進間の動作に戸惑う生徒がいたが、中盤以降は笑顔が絶えずまた真剣な眼差しで取り組んでいた。40分間という短い時間であったが最終的には完成された基本教練となり、和やかな雰囲気の基本教練を実施することができた。

缶バッジ作りにおいては、陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊の各装備品と群馬地方協力本部マスコット（キャラクター・だるまん）の絵柄の中から、生徒が選り作成を行った。

生徒の皆さんが、缶バッジ作製器具を初めて見たため興味津々であり、自ら選んだ絵柄から缶バッジを作成した。完成後は、体操服に缶バッジを複数付け、お互いに自慢し合い、褒め合う生徒も見られ、非常に貴重な体験になったのではないかと思う。

最後には、今回の総合学習についての感想を一人一人が発表した。

「自衛隊に音楽隊があるのを初めて知った。演奏を聴いて感動し、アンコールを言いそうになった」「自衛隊の中でも、たくさん職種がある事を知ってびっくりした」との感想が多かった。

16名の生徒の皆さんがこの総合学習を通じて、防衛省自衛隊について更に詳しく知ってもらえたことは私達にとっても非常に喜ばしい事である。

今回の職場体験で私達にとっても充実した美りのある広報の場となった。
高崎地域事務所は、各学校と良好な関係を構築強化させ、職業選択のパイプ役となり効率・効果的な説明会等を実施して、募集・広報に邁進していきます。



自衛隊の概要説明



缶バッジ作り



缶バッジ作り



基本教練・各個教練



基本教練・各個教練



集合写真

新町駐屯地に大型募集看板設置

募集課

自衛隊群馬地方協力本部（本部長 防衛事務官 小久保 勝之）は、令和6年1月17日（水）新町駐屯地外柵に大型の自衛官募集告知看板を設置した。この看板は、群馬県が自衛官募集のための経費で作成したもので、設置作業は自衛隊群馬地方協力本部の隊員、新町駐屯地業務隊管理科の隊員及び群馬県の職員が協力して実施した。

設置した場所は、交通量の多い国道に面しており、大勢の人が訪れる有名菓子店の目の前というところもあり、大きな広報効果が期待できる。

看板のデザインは、群馬県民には馴染みのある赤城山を背景に、群馬県の公式マスコットキャラクターである「ぐんまちゃん」が迷彩服をきたイラストと自衛隊群馬地方協力本部公式キャラクターの「だるまん」のイラストが描かれており、県民に親しみやすいものになっている。

自衛隊群馬地方協力本部は、少子化などにより厳しい募集環境が続く中でも、自治体や部隊と密接に連携して関係強化を図り、募集広報活動を進取果敢に行っていく。

